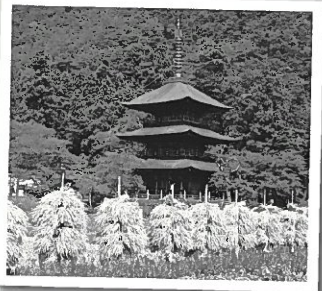


町内の観光はタクシーを使っておトクDEラクラク!

まほろばの里“おすすめスポット”



●安久津八幡神社●

安久津八幡神社は貞観二年(860)、意覚大師が豪族、安久津磐三郎の協力で阿弥陀堂を建てたのが始まりと言われ、後、平安後期に奥州平定のため源義家が戦勝を祈願して鎌倉鶴岡八幡を勧請したと伝えられています。
三重塔、舞楽殿、本殿は県の指定文化財となっています。
高島町のシンボルでもある三重塔を有する神社です。



●亀岡文殊●

丹後(京都)の切戸文殊、大和(奈良)の安倍文殊とともに日本三大文殊のひとつに挙げられています。大同二年(807)に布教で訪れた徳一上人が堂宇を建立したのが始まりといわれ、關原成秋・知恵の文殊として、受験シーズンには合格祈願にと多くの人々が訪れます。また、戦国武将の伊達政宗の誕生に際しての伝説や、江川兼続の詩歌など百首帳が残されている古刹です。

まほろばの里 “おすすめスポット”



●昭和縁結び通り 昭和30年代の生活を感じさせる景観の通り。
各店舗には当時活躍した道具などを展示され、郷土の歴史を知ることができる資料も充実しています。



●瓜割石庭公園 高島石の採石場で、「石切り場の清水に瓜を漬けたところ瓜が割れてこの名がついた」といわれており、現在も採石が行われています。採石時のトンネルを復元すると高い高島石で囲まれた空間は、季節会場やコンサートホールとしても利用され、近郊的な集客力が人気の場所です。



●旧高島駅舎 昭和9年に本道駅舎から建て替えられた建物です。
地光特産の高島石でつくられている珍しい駅舎で、電車や懐炉、当時使用された道具類が保存されていて、歴史を感じます。



●鈴至観音 元禄年間建立。毎年8月10日の夏祭りには「ごんぼの笑の祭り」として昔から続いています。トゲトゲのこんぼの笑を意中の相手につぶつくと恋が実る、という言い伝えから、広場に集まった石者がごんぼの笑を異性に投げかけます。「高田村見物券(168)1円券が有効な御当地大帳」によれば、「一 高田山天台山(山頂)として、一 明神、蓮華院、観音院、観音堂、千太郎(千太郎の名が元来の名)として、一 明神、蓮華院、観音院、観音堂の周囲に陸海舟(舟)として建てている2名の仏のことで、



●道の駅たかはた 道の駅たかはたは「まほろばの里」たかはたの豊富な観光資源を活かした、観光と地域の産業振興を図るための総合的な情報発信施設です。ふるさと自然のみち歩道「利用者のためにつくられたウォーキングセンター」が隣接し、歴史公園と共に様々な体験ができる施設です。
また、高島産の有機米が食べられるレストラン「晴文」、高島産の純米酒、お土産などが買える商店、季節の野草や農産物など生産者「まほろば大地の会」の直売所があります。



●高島ワイナリー 山形県を代表するワイナリー。ワインの醸造などの製造工程の見学にあたり、テイスティングルームでワインの試飲を楽しむながら、色々なワインやお土産をゆっくり選ぶことができます。ヨーロッパ風のお洒落な外観に合わせ、直には色鮮やかな花々が飾られています。敷地内にはワインの自りが楽しめるワインソフトや、ぶどうソフトなどのソフトクリームショップもあり、観光客に大人気のスポットです。